

3 洪水対策

-
- (1) 「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知
 - (2) 河川はん濫時の避難場所の事前決定状況
 - (3) 事前に決めている河川はん濫時の避難場所
 - (4) 河川はん濫時の避難場所を決めていない理由
-

3 洪水対策

(1) 「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

問8 あなたは、足立区が発行（区のホームページにも掲載）している「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」を見たことがありますか（○は1つだけ）。

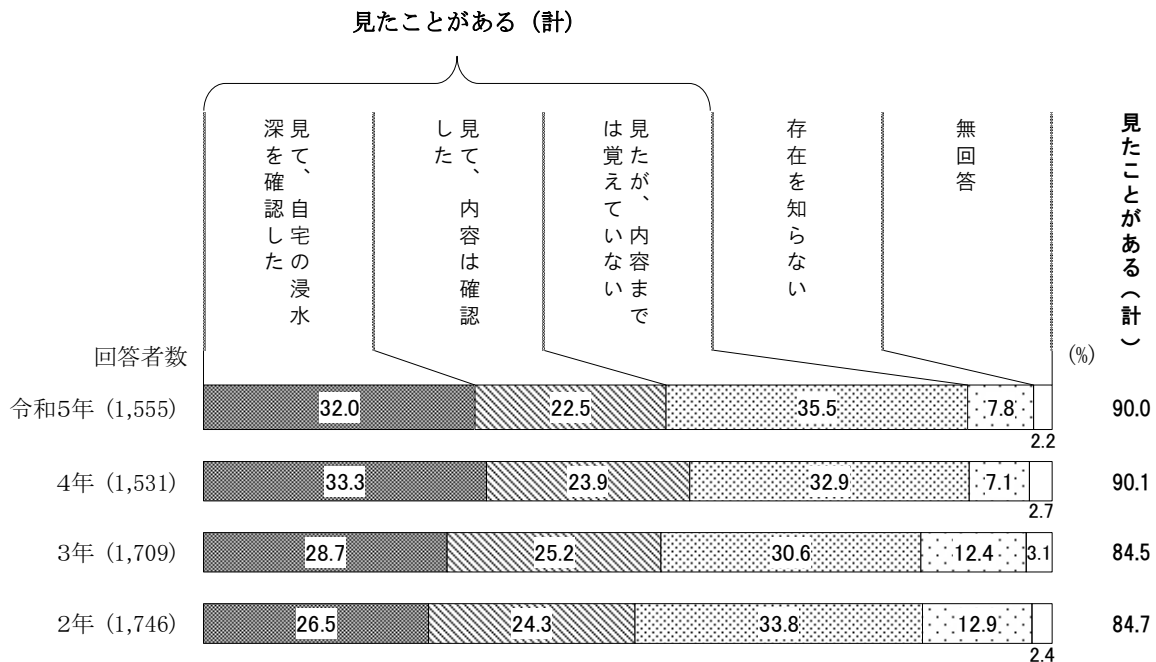
■【見たことがある】は9割で前回調査と変わらず

ア 単純集計・経年比較／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

(ア) 『足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ』について、「見たが、内容までは覚えていない」が35.5%で最も高く、次いで「見て、自宅の浸水深を確認した」(32.0%)、「見て、内容は確認した」(22.5%)となり、これらを合わせた【見たことがある】は9割を占めている。

(イ) 前回調査と比較すると、特に大きな違いはみられない。

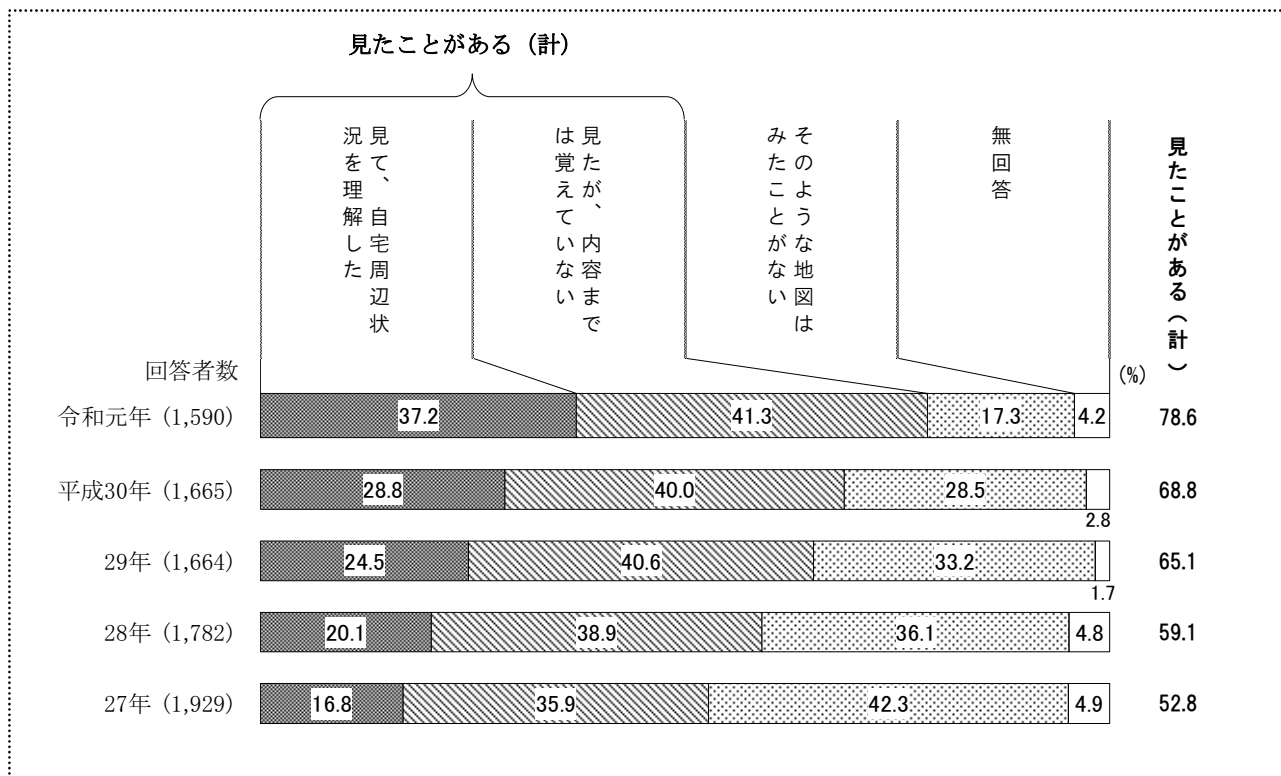
図3-1-1 経年比較／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知



※ 令和3年度までの『足立区洪水ハザードマップ』は、令和4年度から、『足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ』に名称が変更となった。

※ 「存在を知らない」は令和4年度までは「そのような地図はみたことがない」。

参考／「足立区洪水ハザードマップ」の認知（令和元年度までの選択肢）



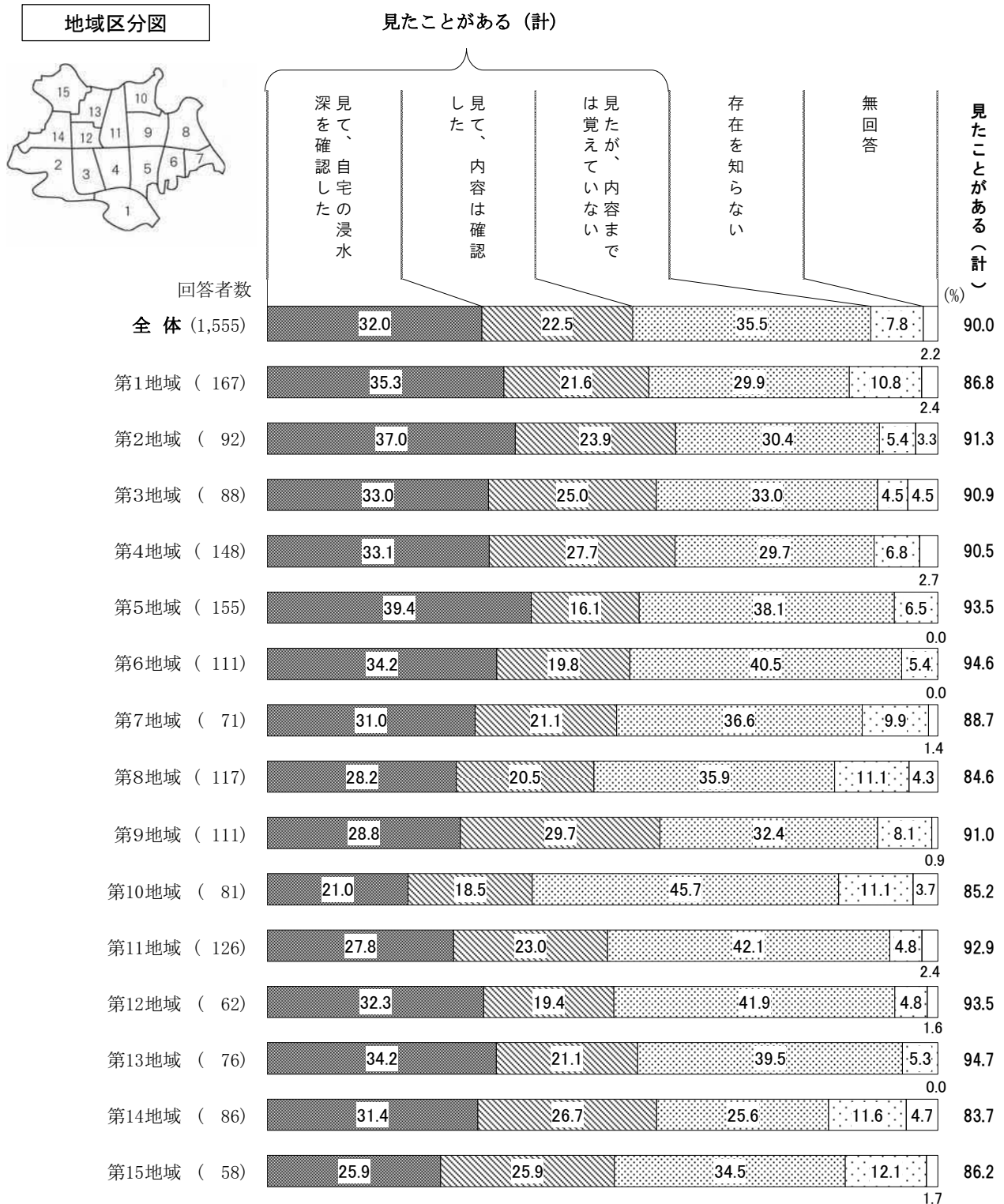
※ 令和2年度から、令和元年度までの「見て、自宅周辺の状況を理解した」が、「見て、自宅の浸水深を確認した」と「見て、内容は確認した」に2分割された。

※ 「見て、自宅周辺の状況を理解した」は、平成27年度は「見たことがあって、自宅周辺の状況を理解した」。

イ クロス集計・地域別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

地域別でみると、「見て、自宅の浸水深を確認した」は第5地域で39.4%と最も高く、第2地域が37.0%で続いており、第10地域で21.0%と最も低くなっている。また、【見たことがある】では第13地域で94.7%と最も高く、僅差で第6地域、第5地域、第12地域が9割台半ばで続いており、第14地域が83.7%で最も低くなっている。

図3-1-2 地域別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

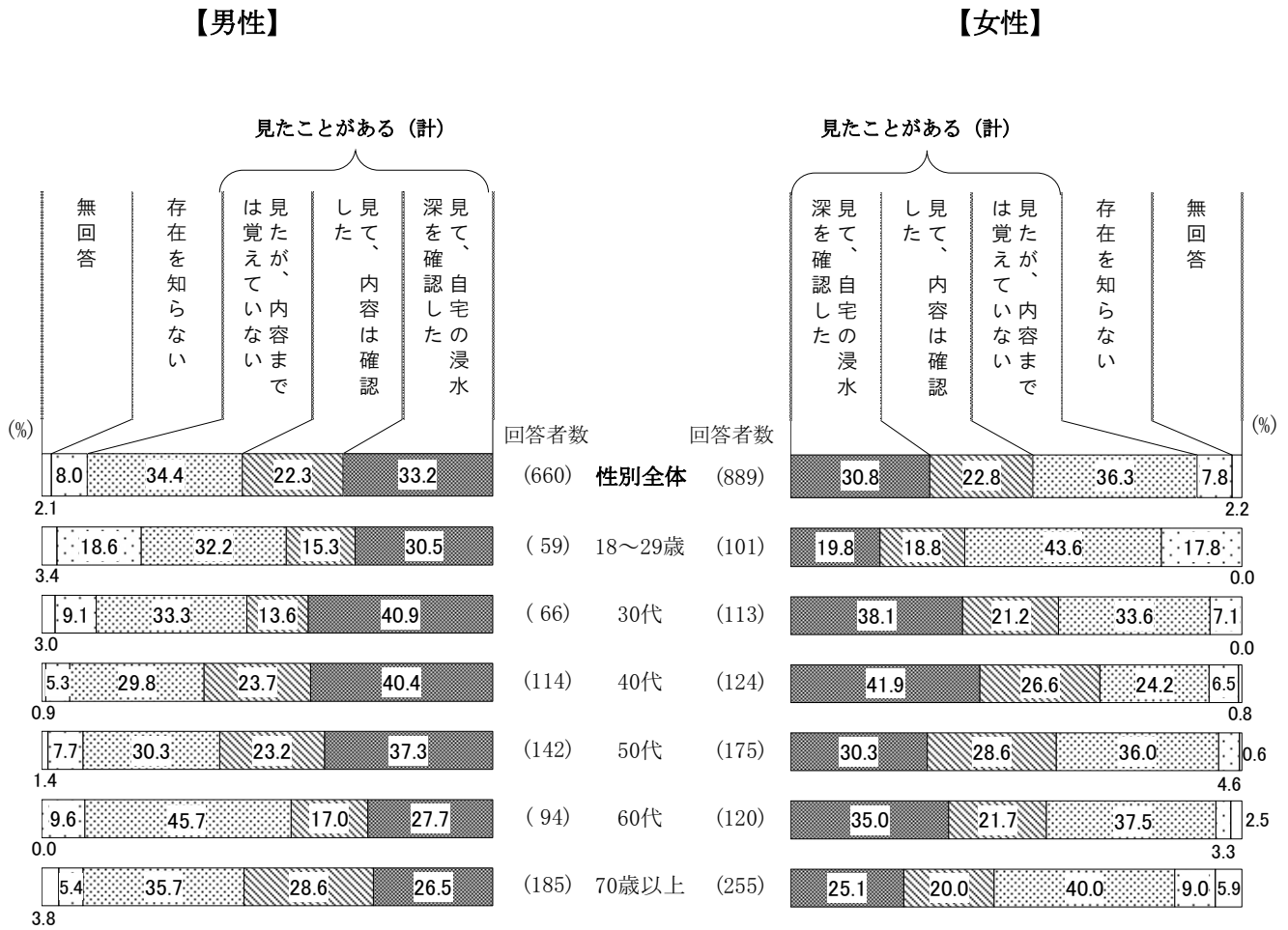


ウ クロス集計・性別、性・年代別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

(ア) 性別では特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別でみると、「見て、自宅の浸水深を確認した」は女性の40代で41.9%と最も高く、女性の18～29歳が19.8%で最も低くなっている。【見たことがある】でみると、女性の50代で94.9%と最も高く、男性の18～29歳で78.0%と最も低くなっている。

図3-1-3 性別、性・年代別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知



(2) 河川はん濫時の避難場所の事前決定状況

問9 あなたは、河川がはん濫する恐れがある場合、避難する場所を事前に決めていますか
(○は1つだけ)。

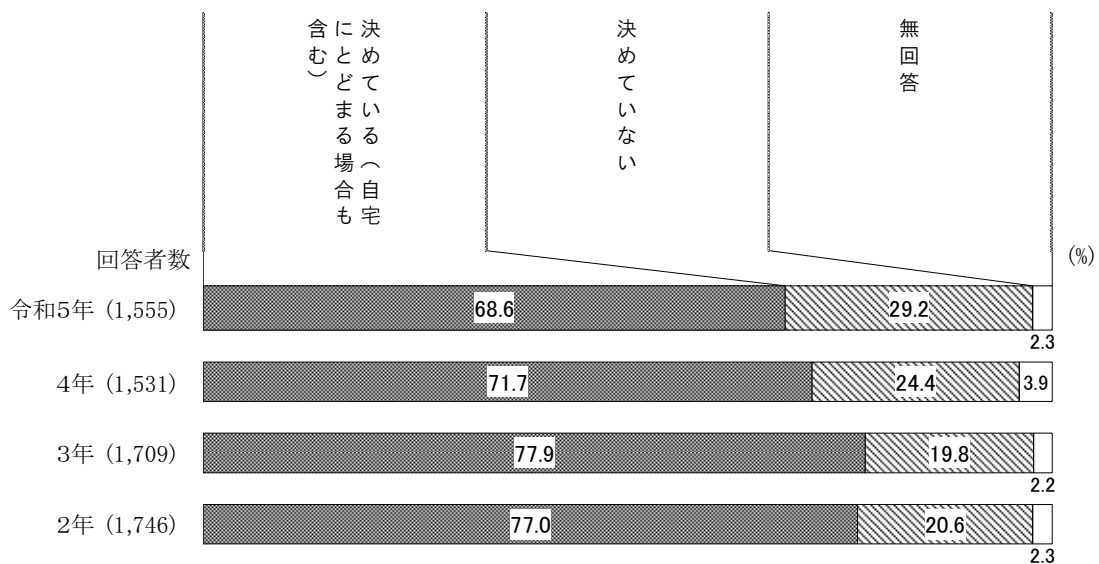
■「決めている(自宅にとどまる場合も含む)」が7割弱

ア 単純集計・経年比較／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況

(ア) 河川はん濫の恐れがある場合の避難場所の事前決定状況は、「決めている(自宅にとどまる場合も含む)」が68.6%を占めており、「決めていない」は29.2%となっている。

(イ) 前回調査と比較すると、「決めている(自宅にとどまる場合も含む)」が3.1ポイント減少し、「決めていない」が4.8ポイント増加している。

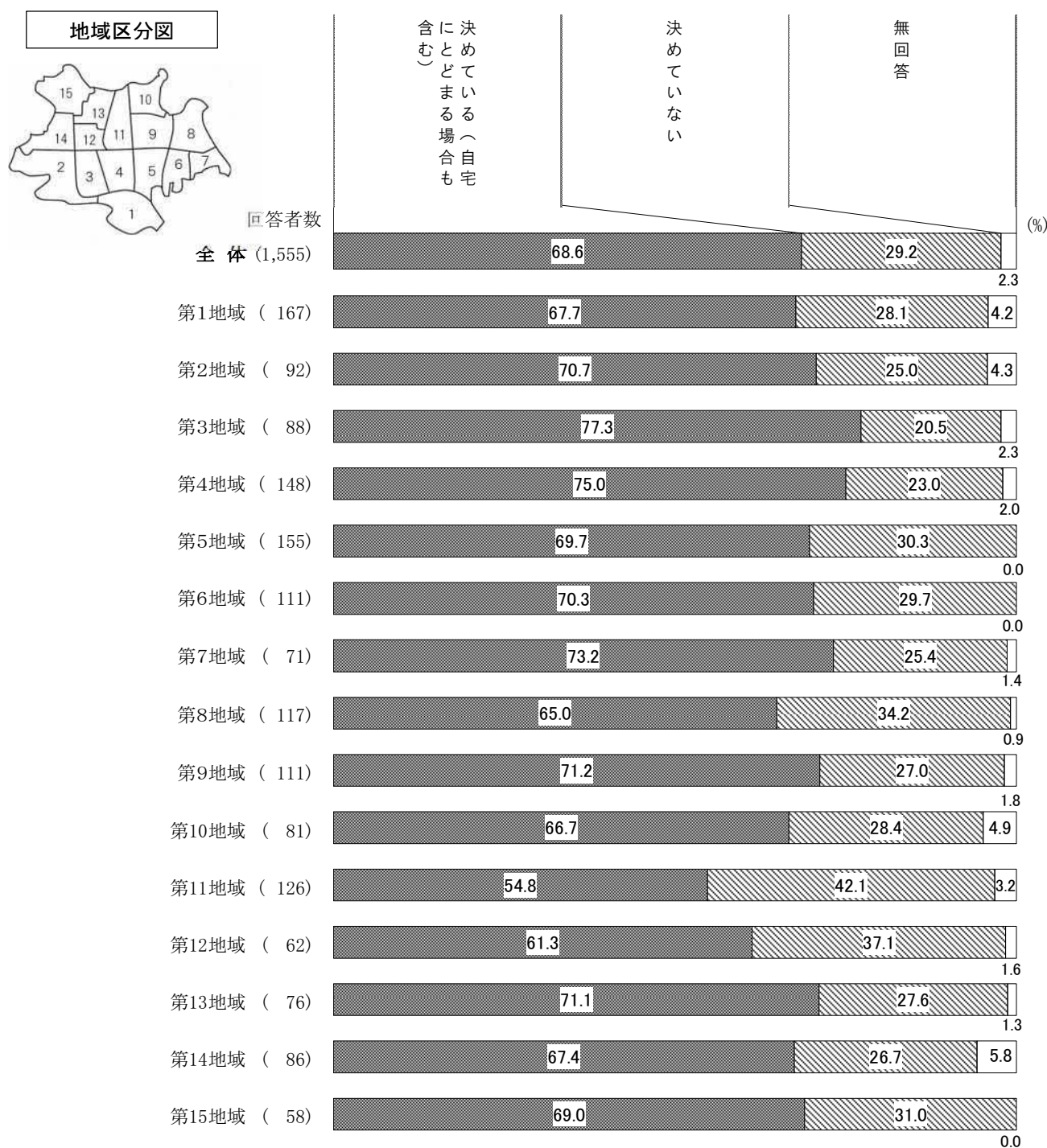
図3-2-1 経年比較／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況



イ クロス集計・地域別／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況

地域別にみると、「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」は第3地域が77.3%と最も高く、次いで、第4地域が75.0%となっている。一方、第11地域が54.8%と最も低く、次いで、第12地域が61.3%となっている。

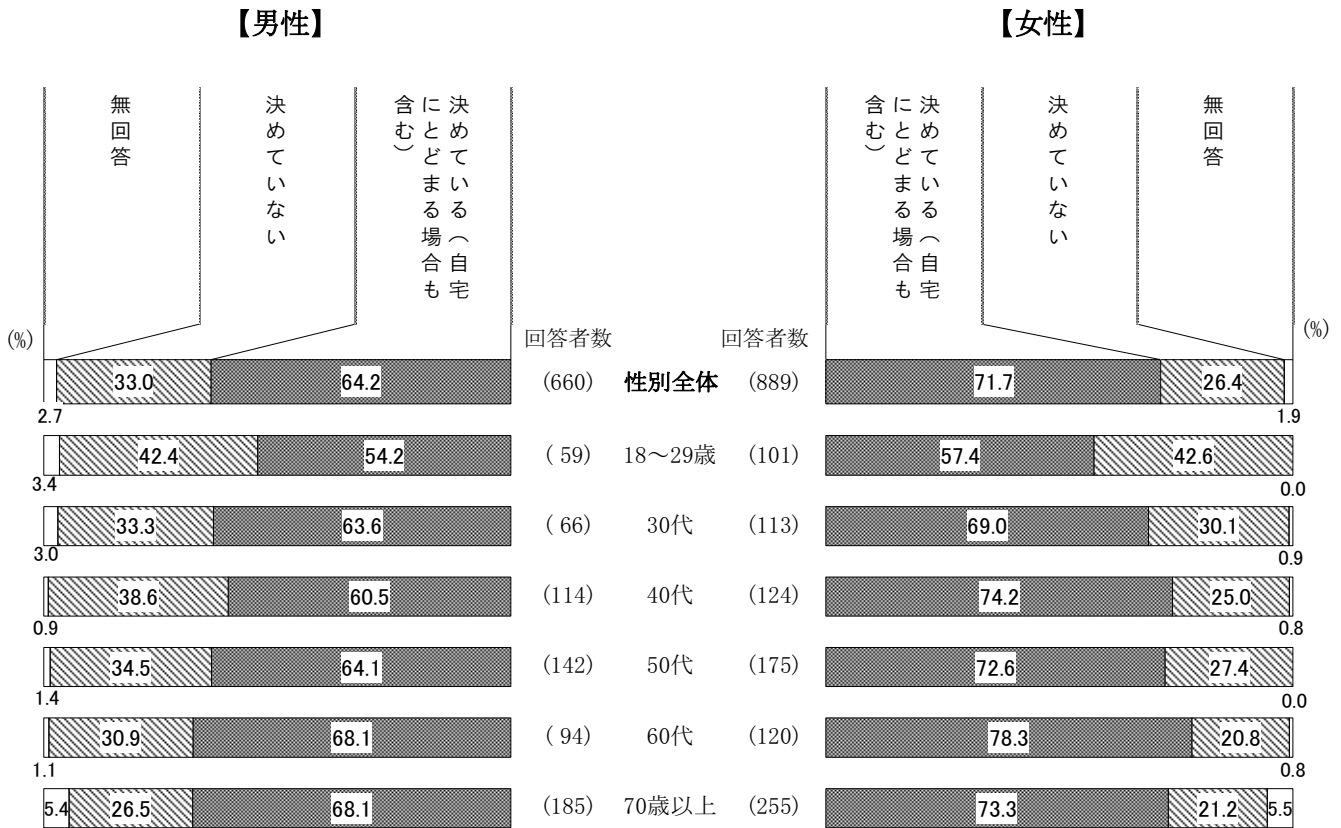
図3-2-2 地域別／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況



ウ クロス集計・性別、性・年代別／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況

- (ア) 性別にみると、「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」は、女性（71.7%）の方が男性（64.2%）より7.5ポイント高くなっている。
- (イ) 性・年代別にみると、「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」は女性の60代（78.3%）で最も高く、男性の18～29歳（54.2%）で最も低く、男女ともおおむね年齢が下がるほど割合が低くなっている。

図3-2-3 性別、性・年代別／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況



（3）事前に決めている河川はん濫時の避難場所

問9で「1 決めている（自宅にとどまる場合も含む）」とお答えの方に
 問9—1 あなたが、避難する場所はどこですか（○は1つだけ）。

■「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」が6割強

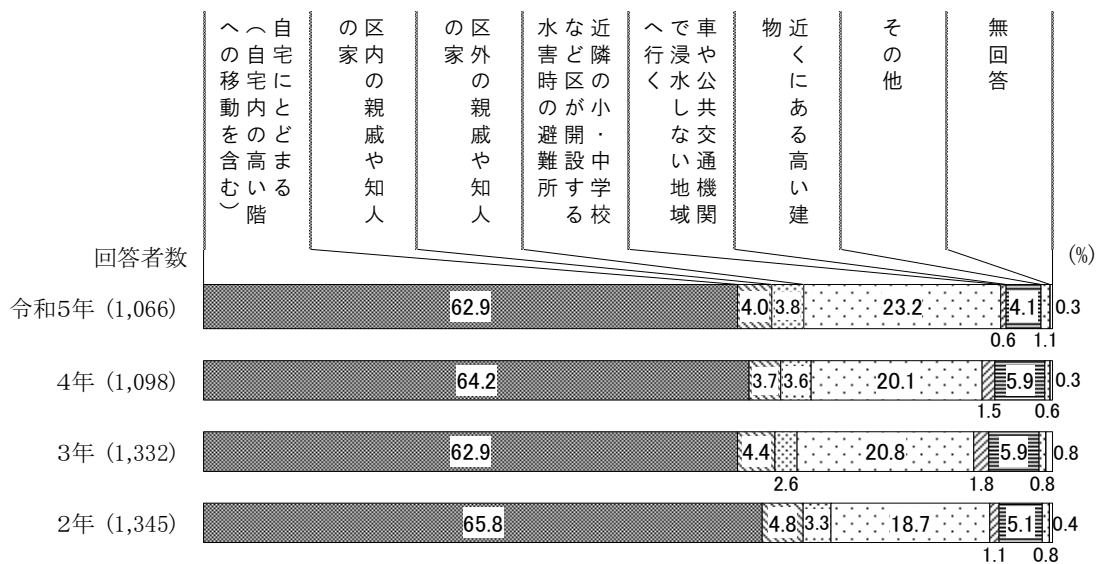
ア 単純集計・経年比較／事前に決めている河川はん濫時の避難場所

（ア）河川はん濫の恐れがある場合に避難する場所を事前に「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」と回答した人に、決めている避難場所を聞いた結果、高い順に以下のとおりとなっている。

- ①「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」（62.9%）
- ②「近隣の小・中学校など区が開設する水害時の避難所」（23.2%）
- ③「近くにある高い建物」（4.1%）
- ④「区内の親戚や知人の家」（4.0%）
- ⑤「区外の親戚や知人の家」（3.8%）

（イ）前回調査と比較すると、「近隣の小・中学校など区が開設する水害時の避難所」は3.1ポイント増加しているが、他の項目では特に大きな違いはみられない。

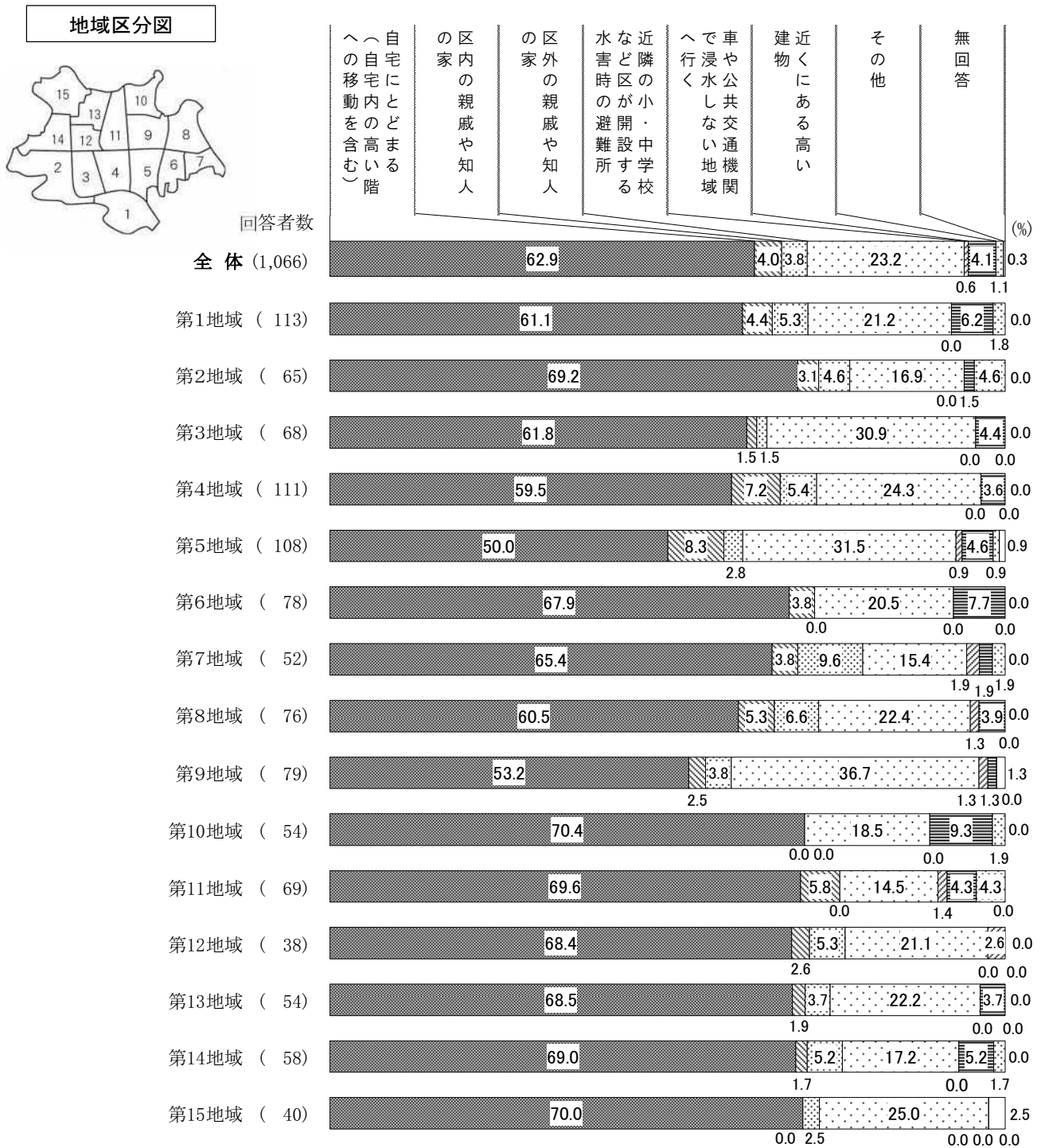
図3-3-1 経年比較／事前に決めている河川はん濫時の避難場所



イ クロス集計・地域別／事前に決めている河川はん濫時の避難場所

地域別にみると、「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」は、第10地域で70.4%と最も高く、次いで第15地域（70.0%）が7割台で続き、第5地域で50.0%と最も低くなっている。「近隣の小・中学校など区が開設する水害時の避難場所」は第9地域が36.7%で他の地域に比べ特に高く、第11地域が14.5%で最も低くなっている。

図3-3-2 地域別／事前に決めている河川はん濫時の避難場所

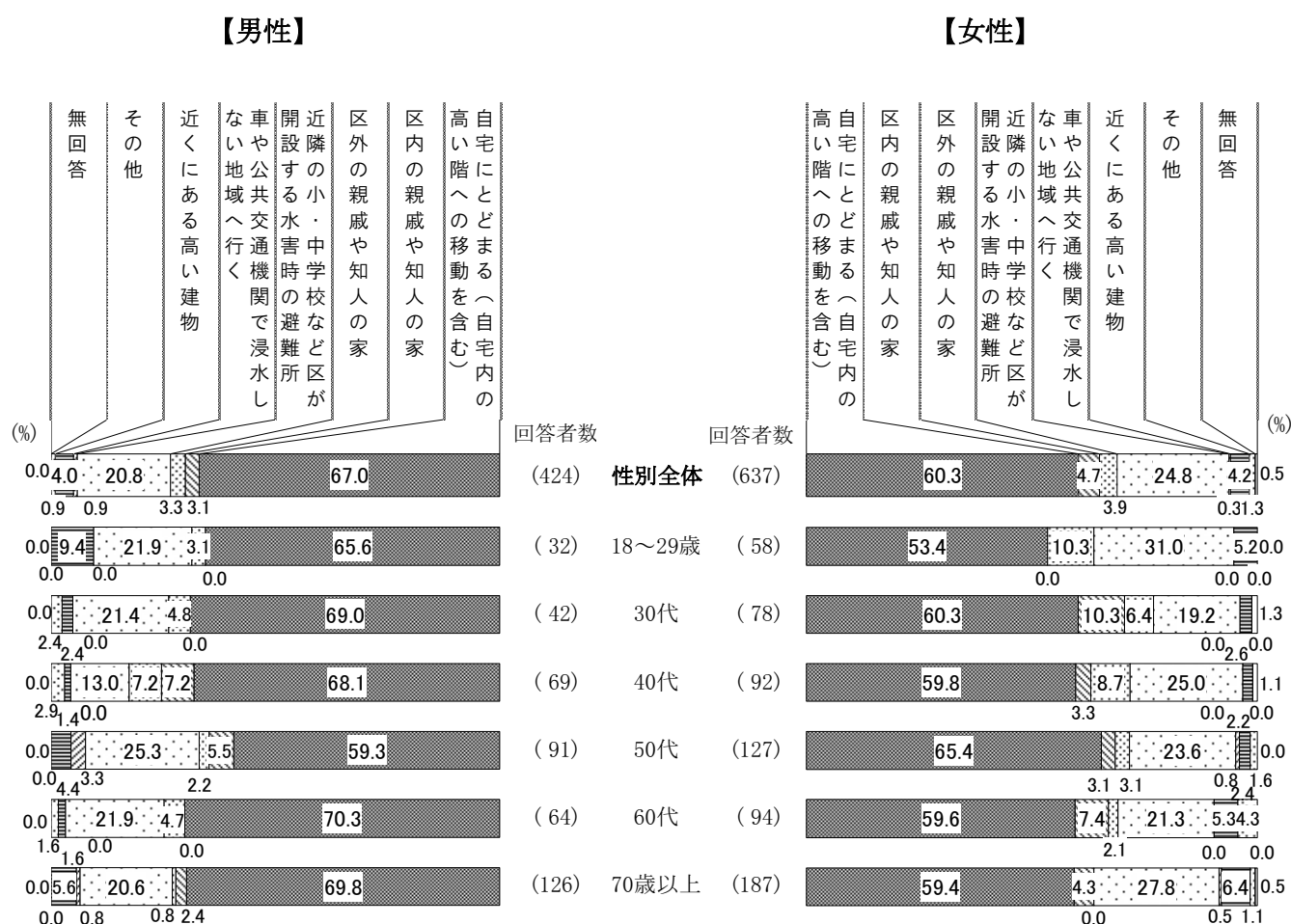


ウ クロス集計・性別、性・年代別／事前に決めている河川はん濫時の避難場所

(ア) 性別にみると、「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」は男性（67.0%）の方が女性（60.3%）より6.7ポイント高く、「近隣の小・中学校など区が開設する水害時の避難所」は女性（24.8%）の方が男性（20.8%）より4.0ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別にみると、「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」は男性の60代が70.3%と最も高く、女性の18～29歳で53.4%と最も低くなっている。一方、「近隣の小・中学校など区が開設する水害時の避難所」では女性の18～29歳（31.0%）が3割台と特に高く、男性の40代（13.0%）が最も低くなっている。

図3-3-3 性別、性・年代別／事前に決めている河川はん濫時の避難場所



(4) 河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

問9で「2 決めていない」とお答えの方に

問9-2 避難する場所を決めていない理由はなんですか(○は1つだけ)。

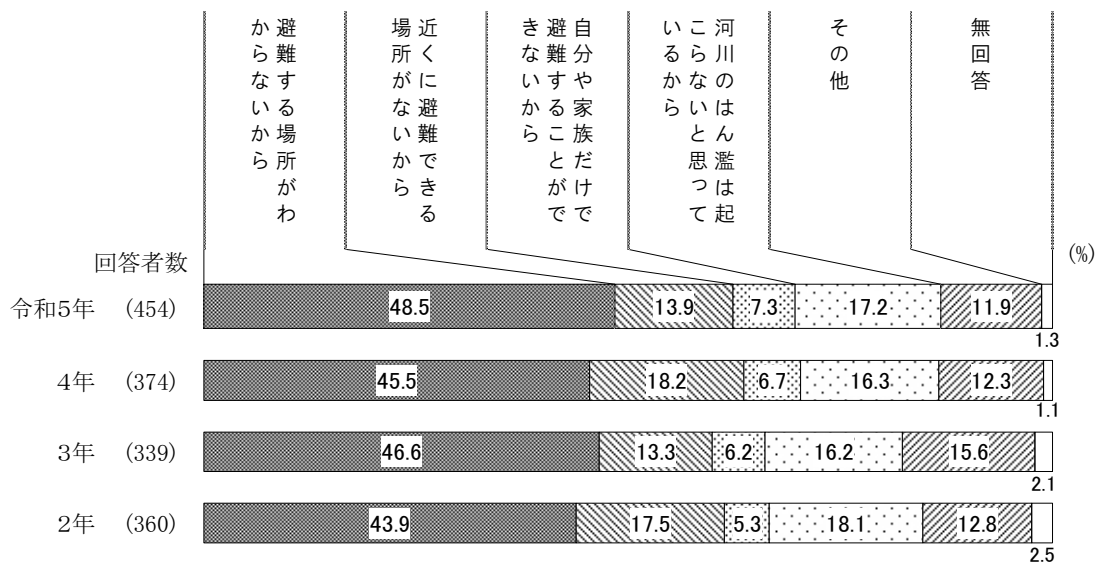
■「避難する場所がわからないから」が5割近く

ア 単純集計・経年比較／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

(ア) 河川はん濫の恐れがある場合に避難する場所を事前に「決めていない」と回答した人に、決めていない理由を聞いた結果、「避難する場所がわからないから」が5割近くと最も高く、次いで「河川のはん濫は起こらないと思っているから」(17.2%)、「近くに避難できる場所がないから」(13.9%)などとなっている。

(イ) 前回調査と比較すると、「避難する場所がわからないから」は3.0ポイント増加しており、「近くに避難できる場所がないから」が4.3ポイント減少している。

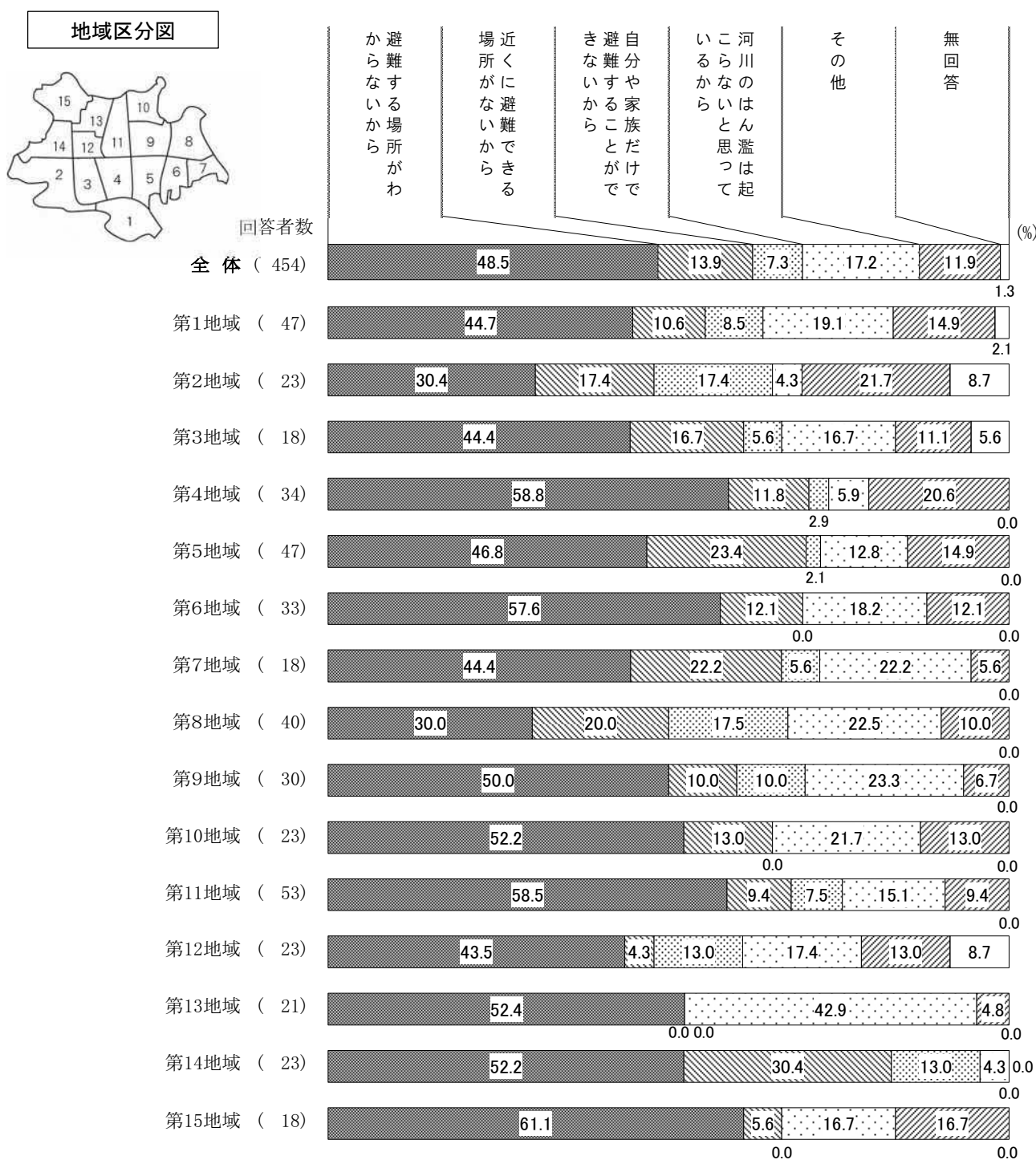
図3-4-1 経年比較／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由



イ クロス集計・地域別／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

地域別にみると、大半の地域でサンプル数が少ないことからあくまで参考値ながら、「避難する場所がわからないから」は第15地域が61.1%と最も高く、第4地域と第11地域で6割近くと高くなっている。一方、第8地域と第2地域が3割と他の地域に比べて特に低くなっている。また、「河川のはん濫は起こらないと思っているから」は第13地域で4割超と他の地域に比べて特に高く、「近くに避難できる場所がないから」は第14地域で3割と他の地域に比べて特に高くなっている。

図3-4-2 地域別／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由



ウ クロス集計・性別、性・年代別／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

(ア) 性別にみると、「避難する場所がわからないから」は女性（52.8%）の方が男性（43.6%）より9.2ポイント高くなっている。逆に、「河川のはん濫は起こらないと思っているから」は男性（22.5%）の方が女性（12.3%）より10.2ポイント高く、「近くに避難できる場所がないから」でも男性（16.1%）の方が女性（11.9%）より4.2ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別にみると、いくつかの性・年代層でサンプル数が少ないことからあくまで参考値ながら、「避難する場所がわからないから」は女性の18～29歳で6割台半ば過ぎと高く、男性の70歳以上で3割と最も低くなっている。

図3-4-3 性別、性・年代別／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

